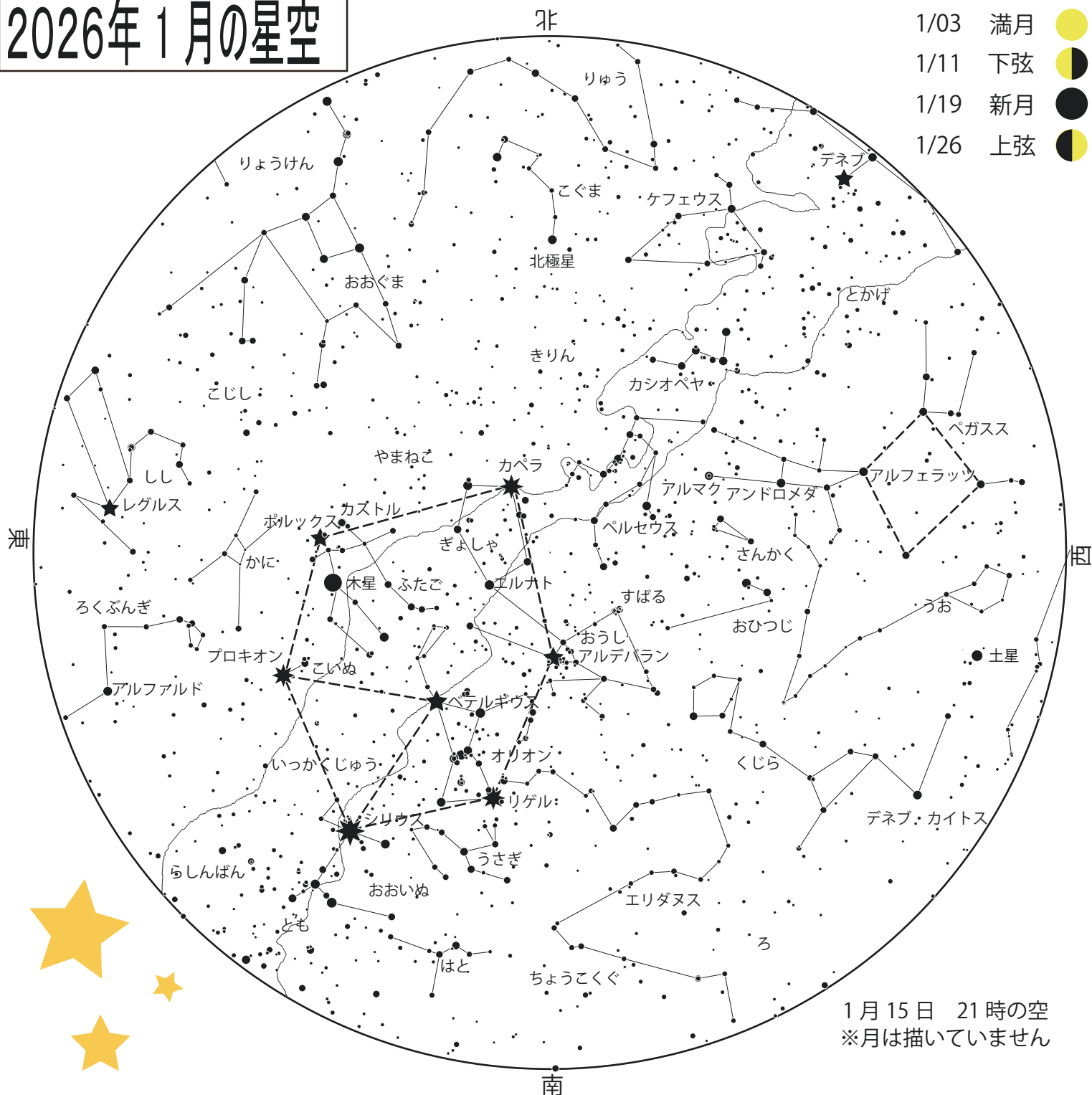


姫路で見る 2026年1月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 1/03 満月 
- 1/11 下弦 
- 1/19 新月 
- 1/26 上弦 



1月15日 21時の空
※月は描いていません

宵の空は、**おおいぬ座のシリウス**、**こいぬ座のプロキオン**、**ふたご座のポルックス**、**ぎょしゃ座のカペラ**、**おうし座のアルデバラン**、**オリオン座のリゲル**を結ぶ「**冬のダイヤモンド**」に、**オリオン座のベテルギウス**と、**ふたご座**を西に移動(逆行)しているマイナス2.7等からマイナス2.6等の明るい**木星**が加わって、彩りゆたかにぎやかです。

三大流星群の一つである「**しぶんぎ座流星群**」の極大は1月4日早朝で、4日未明が観察のチャンスとなります。**月**が明るいため条件は良くありませんが、**月**が視界に入らないように工夫すると1時間あたり15個から20個ほど見えると予想されています。放射点は**うしかい座**と**りゅう座**の境界あたりです。

夕方の西の空には、**土星**が見えています。**みずがめ座**から**うお座**にかけての領域を東に移動(順行)していて、明るさは1.0等で、23日には細い**月**が**土星**に接近します。